

平成19年1月22日

株式会社 SUMCO

ふっ素による土壌・地下水調査の結果及び今後の対策について

株式会社 SUMCO（社長：重松健二郎、本社：東京都港区）は、当社野田工場の構内での排水設備で一部不具合が発生していたことから、同工場内敷地の関連箇所で自主的に土壌・地下水の調査を実施しました。その結果、土壌・地下水の一部にふっ素の基準値超過を確認しましたので、行政に報告するとともに土壌の浄化及び地下水の拡散防止措置を取り進めております。

今後は、千葉県のご指導を仰ぎながら地下水の拡散防止策を継続し、かつ再発防止の為の恒久対策を講じてまいります。

1 調査対象地

千葉県野田市西三ヶ尾314 75, 796㎡

2 調査概要（添付地図参照）

（1）土壌調査

構内排水池の底質泥を調査し、基準値超過を確認しました。

（2）地下水調査

構内の関連地点で地下水を測定し、3箇所でふっ素の基準値超過を確認しました。

3 汚染原因と対策

当社は、ふっ素化合物をウェーハ加工工程において使用しており、通常4～6mg/L（排水基準8mg/L）のふっ素化合物を排出しております。今回の地下水汚染につきましては、最近、構内排水管の一部で亀裂があり（平成18年9月22日修復済）排水が漏水していたことから、このことが原因と考えています。尚、汚染された付近の土壌は取り除きました。

また、最終排水池が素掘りであり、これがもとで地下水を汚染する可能性もあることから、以下の対策を取り進めております。

（1）素掘り排水池については既に使用を中止し、仮設水槽で代用します。

（既に仮設水槽に切り替えています）

（2）排水池の沈殿物は撤去し、恒久設備としてコンクリート槽を設置致します。

1. 沈殿物は平成18年10月31日までに産業廃棄物として廃棄物処理法に基づき適正に処理しています。

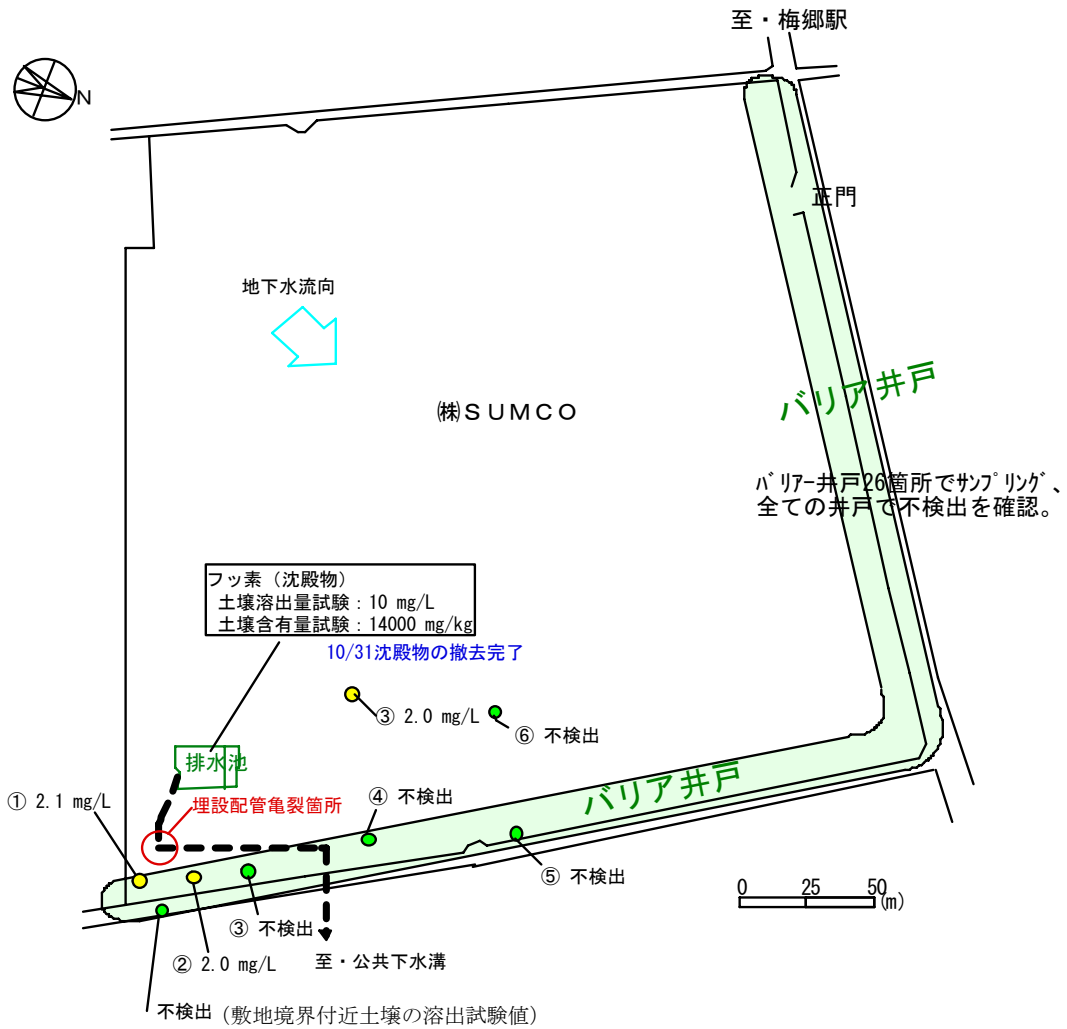
2. 新設のコンクリート槽は平成19年3月末完成予定で作業を進めています。

（3）排水池からの汚染範囲を確認する調査を実施し、対策を講じます。

敷地外に汚染が及んでいないことを確認するため水質調査を行います。

（バリア井戸には地下水汚染の拡散を防ぐ効果が認められていますが、念のため外側を調べることにします）

調査概要図



採水場所	検出項目	分析値	基準値	備考
バリア井戸水 ①	ふっ素	2.1 mg/L	0.8 mg/L	地下水質基準
バリア井戸水 ②	ふっ素	2 mg/L	0.8 mg/L	地下水質基準
敷地内観測井戸水③	ふっ素	2 mg/L	0.8 mg/L	地下水質基準
排水池の底質泥	ふっ素	10 mg/L	0.8 mg/L	溶出試験
排水池の底質泥	ふっ素	14000 mg/Kg	4000 mg/Kg	含有量試験

本件に関する問合せ先：
株式会社 SUMCO 広報・IR 室
電話：04-5500-3915

以上